

市民が調べた相模原市内の「団子焼き」〔No.9〕

加藤 隆志・市民有志

本報告は、平成 25 (2013) 年に行われた、市域各地の「団子焼き」行事の様相を記したものである。本館では、平成 14 年 11 月から 18 年 3 月にかけて民俗講座「道祖神を調べる会」を実施するなかで講座の参加者が 16 ~ 18 年の三カ年に渡ってこの行事を調査し、その結果を研究報告第 14 ~ 16 号に報告してきた。その後、講座参加者の有志の方々などがさらに 19 年以降の行事を調査しており、本稿は 9 回目の報告となる (注)。今回も調査票の形式ではなく文章にまとめて報告した。なお、各報告中の地区名の後に記した No. 番号については、経年変化を示すために「市民が調べた相模原市内の「団子焼き」〔No. 3〕」30 ~ 31 頁に掲載した「団子焼き調査表」の地点番号と対応させている。ただ、番号が付していない地域でも、「市民が調べた相模原市内の団子焼き」〔No. 4〕 ~ 〔No. 8〕」にはすでに報告されている地区もある。

今回は主に相模原地域のデータが報告されているが、いくつかの地区において実施主体などに変化が起きている事例が報告されており、この点は継続して調査を行っていることの利点が発揮されている。また、新戸での道祖神講中の帳面や幟などがある特徴的な事例や、市外では綾瀬市寺尾の事例が報告された。そのほか、情報としては断片的ではあるが自治会等の掲示物も取り上げて多くの地区の実施日時や場所などを確認した。

今後とも、関心を持たれる市民の方々とともに継続的に調査を行い、さまざまなものを資料として用いながらその結果を本書に報告して多くの事例を蓄積し、市域及び周辺地域におけるこの行事の特徴や推移の様相についてさらに捉えていく予定である。

注

これまでの成果は、『相模原市立博物館研究報告』第 14 ~ 21 号に掲載した、「市民が調べた相模原市内の「団子焼き」〔No. 1 ~ 8〕」(加藤隆志・道祖神を調べる会または市民有志)において、第 14 号・2004 年、15 号・2005 年、16 号・2006 年、17 号・2007 年、18 号・2008 年、19 号・2009 年、20 号・2010、2011 年、21 号・2012 年の様相を報告している。本報告の全体の趣旨については 14 号

の No. 1 に掲載したほか、講座を実施していた 3 年間における調査全体のまとめと分析は 16 号の No. 3 で行った。なお、調査全体の意図や調査成果及び講座の一環としての博物館活動との係わり等については、加藤隆志「地域博物館における市民による調査の実際 - 民俗講座「道祖神を調べる会」の活動から -」『博物館の仕事』 8 人の学芸員編 岩田書院刊 2007 でまとめている。

今回、写真を含めて報告をしていただいた方及び調査にご協力いただいた方は、加藤のほか、五十嵐 昭さん・尾根孝太郎さん・小川久治さん・佐々木康賢さん・千葉宗嗣さん・豊田好郎さん・橋本勝邦さん・光廣秀造さん・山崎 登さんである。

〔中野川坂〕緑区中野や又野は 13 日が多い。川坂ではお飾りととは別に竹を燃やした。するとパンパン音がして、その音で人を集めた。

〔三井〕三井では小屋の中で寝ている人に気づかず燃やしてしまい、その人が焼け死んでしまった。それからほとんど焼きをやらなくなった。大人が一晩中酒を飲んでいのを忘れてしまった。

〔串川地区〕(串川地域振興協議会だより「串川のだんご焼き」) 鮑子自治会一例会は 14 日夕方だか、雪のため 20 日(日)に実施。無病息災を願い、おき火で団子を焼く。根小屋中野自治会—13 日(日) 午前 8 時 ~ 10 時、向橋先の広場で 40 名の参加で実施。石ヶ沢自治会—13 日(日)。子ども会を中心に実施。

〔川尻城北 No. 1〕 1 月 13 日(日)。14 日の予定が雪の予報で前日に変更。昨年と同じ場所で行う。自治会主催。火をつける方向はなく、年男、年女が点火する。今年は八十代と七十代男性と小学生六年生 3 人が付けた。団子は各家で作ったものを棒につけて持ってくる。豚汁の振る舞いがある。約 40 名の参加があった。

〔川尻町屋 No. 2〕 1 月 13 日(日) 午後 1 時。町屋第二公園。自治会・育成会共催で準備は役員。団子は各自で棒につけて持ってくる。最近餅が多くなった。火付役員が 3 人で、角材の先端に軍手をはめ、灯油を含ませたもので点火した。松やお飾りの他に、各家庭で伐った

庭木などを公園に持ってきたものを保管しておき、それらと一緒に燃やす。焼き芋・甘酒のサービスがある。焼き芋は前もって焼いておく。約 100 名参加。

【川尻小松】 1 月 12 日（土）10 時 30 分。主催は自治会・育成会。カタクリの里駐車場で毎年同じ場所で開催。道祖神はない。団子は前日に小松自治会館で 7、8 人の女性を作る。米粉を 9 kg 使用。会長挨拶の後、会長等 3 名で 2 m くらいの竹の棒の先端に晒しを巻きつけ、灯油を含ませたものを使って点火。団子を焼く棒は三又で梅の木と思われる。70 本くらい用意。10 時 50 分の時に参加者は 30 名くらい。どんど焼きについて知らない人が多いので、実施方法や御利益・言い伝え等を記したチラシを配る（言い伝えは wikipedia からの引用）。

【相原地区 No. 3・4】 1 月 14 日（月・祝）に相原公民館区の下四ヶ所で恒例のどんど焼きが予定されていて、午前中に二本松八幡宮と二本松公園、午後にさつき公園で実施されたが、折からの雪で森下自治会館前広場では 15 日の午後に実施された。

【二本松八幡宮】 1 月 14 日（月・祝）午前 8 時 30 分。二本松八幡宮境内。主催は昨年秋より八幡宮となった（以前は自治会）。準備は八幡宮役員で行う。団子は昨年と同じ 500 個、団子を焼く棒（三又は少なく二股の棒）は 50 本くらい用意。今年は昨年と違い、8 時 30 分に神主の祝詞があり、終わって役員が火をつける。雨のためか参加者は例年より少なく、9 時で 70 名ほど。

【神明大神宮 No. 5】 1 月 14 日（月・祝）午後 1 時。場所・神社境内。名称どんど焼き。石碑なし。構成員は神社氏子。荒天であったが、細心の注意をしてどんど焼きは実施された。

【橋本 1 丁目など五自治会 No. 6】 1 月 12 日（土）午後 1 時 30 分～。場所・こどもセンター。名称どんど焼きで石碑はなく、どんどやき実行委員会が実施。今回も運営委員長の挨拶で始まり、司会はこどもセンターの人が行った。已歳生まれの年男男女女（ともに小学生）の代表が点火して始まった。その後、世話人が火の調整をして 30 分後に団子焼きがスタートした。団子は各自で用意した。最後は例年通り、おみやげをもらって帰った。

【橋本 3 丁目新町自治会 No. 7】 1 月 13 日（日）午前 10 時。場所・小山皮膚科医院駐車場。名称どんど焼き。道祖神石碑なし。橋本 3 丁目新町自治会が構成員。自治会長と子ども会会長の点火で始まり、その後自治会長の挨拶があった。団子は自治会で準備した。甘酒や豚汁も用意され、餅つきも行われた。

【東橋本南自治会 No. 8】 1 月 12 日（土）午前 11 時。場所・東橋本公園。名称どんど焼き・餅つき。石碑はなく、

構成員は東橋本南自治会と子ども会。自治会長と子ども会会長で点火され、木炭も用意されて 30 分後に団子焼きが始まった。餅つきも行われ、お汁粉・甘酒なども振舞われた。団子は自治会で準備した。

【橋本 4 丁目・小山寿町・高砂町・本町自治会 No. 9・No.10】 1 月 14 日（月・祝）午後 2 時。場所旧火の見やぐら跡。名称どんど焼き。石碑なし。自治会が構成員。荒天のため、17 日の午後に変更された。17 日は 1 時点火、1 時 30 分団子焼き。団子は各自が用意した。

【小山高砂自治会】 1 月 13 日（日）午前 10 時から。高砂こどもの広場。石碑なし。名称どんど焼き・餅つき。例年、どんど焼きは大人（旧火の見やぐら跡）の日にちと重ならないよう計画し、今年は 13 日となった。団子は各自が持ち寄った。10 時からどんど焼き、10 時 30 分～団子焼き、11 時～餅つき。

【鶴野森 No.29（※自治会文化部リーフレット）】 現在は成人の日に実施。自治会館近くの辻に祀られている道祖神に供えた蠟燭の火をお飾りの注連縄に移し、松明にして樽に点火。三つの団子を付けた三又棒は各家で作って持ち寄ったが今は自治会が用意。団子は養蚕の繭玉に託したもので、繭の形に似た楕円形のものをたくさん作り、ケヤキや栗の枝に付けた物を家の中に飾り、団子焼きに持ち寄って今年もたくさん繭ができるように祈った。昔は広場で持ち寄った団子を交換し、これは「うちの米の出来栄を味わってください」といった団子の粉の元になる米の種籾を交換する意味があった。鶴野森では最初、鶴野森団地の奥の境川沿いで行われていたが、やがて家数の増加のために二ヶ所に分かれ、現在の 1・2・3 区の家が道祖神の所で行い、昭和 50 年に子ども広場ができると同時に一ヶ所にまとまって現在に至る。

【田名・清水自治会 No.46】 1 月 13 日（日）。午後 1～4 時。自治会館前。婦人部が朝から団子作りをして、自治会で団子 5 個を 200 円で販売する。予約も受け付ける。棒も自治会で用意する。お飾りや注連縄などは前日までにお不動様へ出し、それらで観音堂の前にムロを作る。1 時にムロをどんど焼き会場まで運び、一緒に燃やしてしまう。

【上溝・本町 No.50】 1 月 13 日（日）。上溝本町ではダルマ市とどんど焼きが同日に行われる。どんど焼きは午前 11 時点火。役員 5、6 人が事前に燃やすものの仕分けを行う。場所に対して燃やすものが多く、別に 10 名ほど（本町役員全体で 15 名）が中央公園で燃やしている。ビニール袋のみを除き、他はそのまま火にくべ、あまり大きく積まずにお飾りを少しずつ足すようにして燃やす。毎年 2、3 つはある持ち込まれた神棚も燃やす。団子は

各自が用意し、例年、10～15名ほどが団子を焼く。三又の木は自治会で数本用意している。昔は日金沢と一緒にやっており、まだ日金沢に自治会がなかった。今のてくて公園の入口の坂を登る旧道の端の杉の木が何本もあった所でやった。

ダルマ市が復活したのは平成元年で今年で25回目。ダルマ市が始まってからはどんど焼きと一緒にしている。始める時に成田山（この日は成田不動・大鷲神社ともに開扉する）に相談したら相模原付近は高尾山の管轄と言われ、高尾山の末寺の安楽寺の坊さんが読経してお焚き上げを行う。午後3時頃にまず不動堂で読経が始まり、次に外でダルマが積まれた前で読経をして、その中でダルマのお焚き上げをする。ダルマ市は上溝商店街振興組合主催で、本町自治会と県央イベント商業協同組合相模原支部協賛。ダルマの販売の他、本町囃子、フリーマーケット、女子美術大学とのコラボ企画のイベントなどがあり、商店街のプレミアム商品券の販売もある。

【上溝・日金沢（上溝4・5丁目）】 1月13日（日）。午後1～3時。名称・どんど焼き、日金沢自治会主催。上溝5丁目日金沢自治会館庭で実施。道祖神は文字塔が上溝5丁目の高野旅館前にある。準備は自治会役員が行い、行事には子どもを含む自治会世帯員が参加。経費は自治会費から出ている。現在は道祖神と行事との直接的な係わりなし。前日に自治会館にて婦人や子どもたちが団子作りを行い、当日午前に団子を蒸かす。役員が団子を挿す木を適数準備する。三又を鉄で作り木に縛ってあるものと、三又になった木の枝を伐ってくるものがある。燃やすものは各家庭の正月飾りや書初めを持ってきて、あらかじめ燃やしてある火に各自投げ込む。自治会役員から団子をもらい、先が3又になった木を役員から借りて、団子を3個付けて、火にかざして焼く。燃えている火で直接もやすため、団子は煤で黒くなるが焼きあがったら取り外して食べるか家に持ち帰る。その団子を食べると風邪をひかないといわれている。自治会より、参加者にみかんやお菓子、お酒が振舞われる。行事の場所は変わっている（ダイエー裏のこども広場→榎神社→自治会館）。行事日は、以前は1月14日であったが、現在はその近辺の日曜日としている。

【上溝・横山 No.57】 1月13日（日）午前11時。場所・横山小学校校庭。主催・横山地区自治会連合会。当日の役員は80名で各自治会から出て、設営・分別・団子準備・その他の作業を行う。協力団体「横どん会」10名。団子1000人分（一人分は団子3個）と予備300人分、竹竿250本、竹串700本（今年300本補充）用意する。準備は8時で11時に点火。自治会連合会会長から今年の干支

生まれて立候補した人に火を渡す。点火から1時間くらいでやっと火が落ちていて団子を焼ける。会場では地元の農家を作る野菜を安く売ったり、アトラクションもある。

【上新戸 No.78】 1月13日（日）午前9時火入れ。名称・どんど焼き。場所は大鳳会館裏手（個人の家の土地を借りている）。町内掲示のチラシに、上新戸道祖神講中、当番自治会・荒井耕地西自治会とある。行事は、荒井耕地東・荒井耕地西・上新・中央・新道の五自治会が合同で行い、毎年当番自治会が回る。各自治会はかつては30軒ほどだったが今は100軒以上あり、自治会に入っていない家も結構ある。荒井耕地がかなり増えた。各作業は当番自治会の人と道祖神講中の人が出るが、今は道祖神講中とあるが自治会単位で準備等を行っている。「左義長当番控 上新戸道祖神講中」と表題に書かれた帳面があり、現在残っているのは平成16年起のものだが、もっと古いものもあった。帳面には各家1000円以上のご芳志（そのほかに当番自治会以外の各家からも会費300円。ただ、葬式があってお飾りをしなかったから300円を出さないということはある）や集まった金額、物品、支出内訳等が記載されている。この帳面は当番自治会に回っていく。「上新戸道祖神講中」とあるが特に道祖神の講中ではなく、当番の自治会長や班長を中心に行う。会計なども自治会の会計が兼務する。どんど焼きの会計報告はしなくてよく、当番自治会で全部使うことになっている。なお、かつて左義長といったかどうかは不明という。

準備は12日（土）午前9時に開始（清めは20名ほどの全員が集まった9時30分から行った）。各家のお飾りは自治会ごとに集められる。直接この場所に持ってくる人もいる。かつては7日にお飾りを下げ、小学生が集めた。燃やす場所の下にトタンを置き、お宮からもらってきた竹の柱四本を立て、一本は中心にして頭にダルマを付ける。円錐形の中に笹や枝などを詰め、上部を縄で縛る。表面には枯れ枝などを立てかけ、お飾りを置く。全体を縄で巻いて締め、最後に地元の氏神である日枝神社に飾ってあった注連縄を巻きつける。午前10時に完成した。なお、当番自治会は前年のうちに場所の草刈りをする。水田の中なので水があり、草がうんと生えてくる。以前は田の中で行い、今は耕作していない現在地に決まっている。

会場の準備後、午前11時30分から、道祖神石碑のある四つ角のところに当番自治会の自治会長が中心となって、「奉納道祖神 明治二十二年一月十四日 上講中」と記された幟を立てる。この幟は翌日のどんど焼きの終了後に片付ける。そして、午後5時から道祖神碑に灯明や

御神酒などを上げて、自治会長と荒井耕地西自治会の班長（五班）が二礼二拍手一礼する。八方や盃など、供え物に使う専用のものがあるが、かつては灯明台などもあり、供えた御神酒や米、水などは一晩中そのままだった。供え物があり、道祖神碑向かいの家が用意していた。

行事当日の13日（日）には、午前8時30分に道祖神碑の前で灯明を点けて拝礼し、そこから会場に向かった。8時45分過ぎに清めで回りに会長と副会長が酒を撒き、挨拶をして集まった者が御神酒を飲んで午前9時に点火する。三つ又の木の枝に刺した団子を持ち寄った人々が焼き、枝にはスルメが付いたものもあってスルメを炙る人なども見られた。甘酒や菓子を子どもに配る。どんど焼きは午前11時までの予定で行われ、団子を食べると風邪を引かないということで多くの参加者があった。

【新戸南町・パレス翔自治会】 1月13日（日）午前9時から。名称・どんど焼き。場所：六反橋

【綾瀬市・天台自治会第四区（寺尾西地区）】 1月13日（日）。名称・どんど焼き、寺尾天台自治会第4区区民会館前で実施。自治会役員が実施し、経費は自治会費から支出。単体道祖神と文字碑が区民会館南約100mの寺尾西1丁目の辻にある。

事前の準備としては、参加者にお汁粉・お新香・御神酒を振舞うため、女性役員は前週に買物をして前日に仕込みをする。お飾りは区民会館に集積しておく。火を燃やすので事前に消防署へ届けを出す。どんど焼きのお知らせを作り、組長会を通じて回覧を回す。役員は8時集合。区民会館に集積しておいた正月飾りを広場に積み上げ、隣りに会館横の山林の伐採樹木や廃材を燃やして火床を作る。燃やした灰を入れる穴も掘る。道祖神の前に積み

上げられたお飾りを区民会館に運び、当日、会場に持ち込む人も多い。点火時間がきたらお飾りを隣りの火の中に入れて炊き上げる。木が手に入らないので団子を代用品に差し、アルミホイルで団子を巻いてあるものを持って孫を連れてくる年寄りがいるが子どもの参加は少なく、大人が多い。開始や終了の儀礼はなく、新年の挨拶もこの場でする人が多く、地域の交流の場になっている。終了後、役員は片付け、反省会を行う。

昔は14日の夕方から道祖神の前で行われた。団子を決まった木に三個挿し、子供たちが集まって来て団子を焼いて食べた。団子を食べれば風邪を引かないといわれた。書初めを火の中に入れ、その灰が高く上がると字がうまくなるといわれ、誰のものが高く上がったなどとはしゃいでいた。前日に米粉（上新粉）の団子を作り、樫の木に三個の団子を挿す。また、豊年を願い、木の枝に一杯団子を挿した。鶴や亀・小判をかたどった団子も作り、木に挿す。一晩中家に飾り、どんど焼きに団子を挿した木を持って行った。団子を挿した木はしばらく家の入口の脇に立てておいた。

【その他】 1月14日（月・祝）は午前中は雨、午後からはかなり雪が降るあいにくの天候であったが、市内各地を回ってみてその状況を確認した。場所を北から順に記す。緑区一葉山島（下河原・藤木・下倉）、小倉・小倉宮原、道志（北・館・南〔南はまだ小屋無し〕）、増原（14日午後3時開始）、三ヶ木原替戸（当日終了後）、城北（前記のように予定変更して前日に実施）、橋本大神宮（午後雪の中実施）。中央区一清新氷川神社（午後雪の中実施）。南区一当麻宿（15日午前9時に延期）、古淵（延期？）、大沼神社（15日に延期）、上鶴間谷口（六町内とも雪の中で実施）、上鶴間中和田（13日実施）。



1 城北



2 城北



3 小松



4 小松



5 町屋



6 小倉橋



7 葉山島



8 道志館



9 橋本



10 上鶴間谷口



11 大沼



12 大沼（点火前には道祖神碑を前に飾る）



13 田名清水（道祖神のム口）



14 田名清水



15 田名清水



16 田名清水（ム口を燃やす）



17 横山



18 横山



19 上溝本町



20 上溝本町



21 上溝本町（ダルマの販売）



22 上溝本町（同日に行われる囃子）



23 上溝本町（ダルマのお焚き上げ）



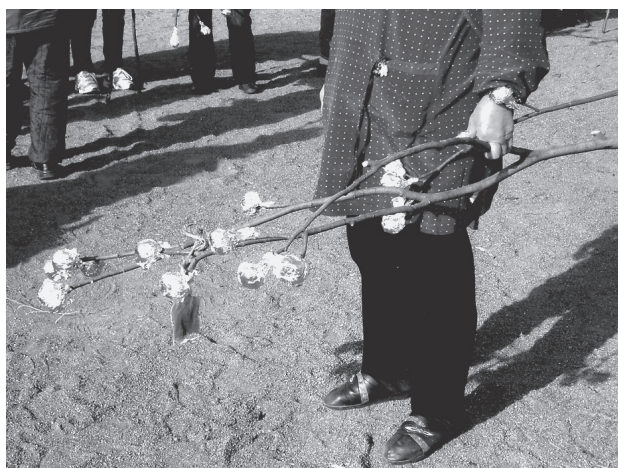
24 日金沢



25 当麻宿



26 上磯部



27 上磯部（スルメも燃やす）



28 上新戸（左義長当番帳）



29 上新戸



30 上新戸（準備）



31 上新戸（幟を立てる）



32 上新戸



33 上新戸（道祖神へ灯明などをあげる。12日）



34 上新戸



35 上新戸（点火前にも道祖神を拝礼する。13日）



36 上新戸（団子とスルメ）



37 上新戸



38 上新戸



39 上新戸



40 下新戸（下新戸は自治会ごとに分かれて行う）



41 下新戸



42 下新戸



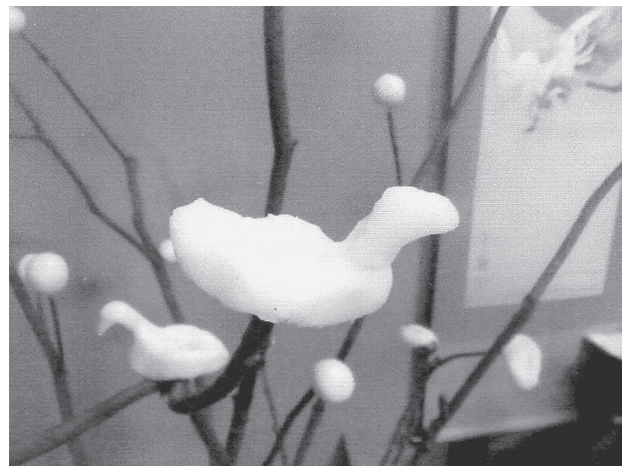
43 新戸河原



44 新戸河原



45 綾瀬市寺尾（団子飾り）



46 綾瀬市寺尾（団子での作りもの。鶴。ほかに亀と大判・小判を飾る）



47 綾瀬市寺尾（単体像の道祖神碑がある）



48 綾瀬市寺尾